

地域資源活用で食糧基地を！
市民の財産である交流施設の活用を！
公営住宅の利活用・新規公営住宅建設を！



浜崎義昭
議員

【天草の農業・漁業の活性化について】

浜崎 農・漁業品目出荷はどうなっているか。地域に合った特産品の推進は行っているか。農・漁業者の後継者対策はどのように考えているか。

経済部長 総売り上げは、全体として減。デコポン、ポンカン、天草大王、オリーブなどを推進。後継者対策は県など関係団体と協力して取り組んでいく。

浜崎 市長自らが第一次産業の方々と懇談を持つ機会を提案する。

市長 農・漁業者との懇談を行っていききたい。

浜崎 国の事業の中には、天草に必要な事業が多く存在している。地域活性化の為に食糧基地としての展望を持った政策を打ち出すよう市長の英断を求める。

【指定管理者への責任の丸投げになっていないか】

浜崎 市長あてに、交流施設送迎バスの再運行を求める嘆願書が440名から出されている。嘆願書

の重みについてどのようにとらえているのか。

観光文化部長 効率的・効果的な事業実施体制の確立と自律的運営を目指している。

浜崎 指定管理者制度で自治体の役目「住民の健康及び福祉の増進」が後回しにされるのではないか。
観光文化部長 指定管理者と協議を行っていく。

【快適なまちづくり】

浜崎 第2瀬戸大橋建設にともなう商店街の活性化・調和町並みづくりの検討を要望する。

経済部長 中心商店街への誘導を行って活性化に繋がればと考えている。

【公営住宅の今後の活用】

浜崎 老朽化した公営住宅が多く存在している。現代に合った公営住宅にリフォーム・新規公営住宅は単身世帯に対応した建設を求める。
建設部長 1,915戸を管理している。耐用年数を経過した住宅が434戸。平成33年度の必要戸数を1,710戸とする

病院改革プランについて



二島義純
議員

脇島 今の勤務状況の中で職員（医師・看護師）に負担がかかっているのではないか。

病院事業部長 職員が退職した場合には補充、それ以外は臨時の雇用で職員を確保、現在の配置については適正である。中でも医師確保には「特段の対策」を講じているが確保ができない状況である。御所浦診療所については早急に常勤医師一人を確保しなければならぬと考えている。

脇島 常勤医師と非常勤医師（報酬・医師の確保）の違いは。

病院事業部長 常勤医師は確保が難しい、非常勤医師は交通費も含め報酬も高めだが確保はしやすい。

脇島 合併前は公立の医療機関を持った自治体は市長・町長が先頭に立って医師確保に努めていたが。

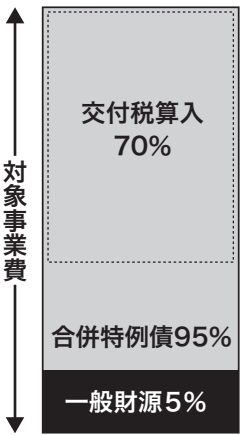
市長（福岡・熊本医大・鹿児島）現地に向いているがなかなか成果が上がらない。今現在も診療所に来ていただけないかと努めている。今回も自治医大と包括協定もできた所だから常勤医師を配置できるように全力をあげて努める。

脇島 赤字化になったら指定管理制度（民営化）の導入とあるが。
病院事業部長 第2期改革プランもひきつづき全部適用で進めていきたい。指定管理体制や民間への移行は今のところ念頭に置いていない。

【合併特例債について】

脇島 東日本大震災のあと発行期間は15年に延長されたが天草市の起債の適正水準と起債の償還の方法は。

総合政策部長 天草市の起債の適正水準は550億ぐらいで償還については種類で違うが一番長いので30年である。



脇島 国が元利償還の7割を肩代わりすると言ったことだが有効利用と市民目線で市民の利益に成る事業の進め方を願う。

天草ジオパーク構想について



黒田忠広
議員

【天草ジオパークの進捗状況と今後の計画について】

黒田 天草ジオパーク進捗状況について。

観光文化部長 本年2月7日に開催された天草ジオパーク構想推進協議会において、平成26年度に認定申請の決定を受けて、協議会の委員等の協力を得ながら、毎月1〜2回程度、開催している。天草2市1町の事務局会議において資料の収集、整理分析を行い、連携を図りながら、申請書の作成作業を進めている。

申請にはガイドの育成も評価項目になっている。現在、「ボランティアジオガイドの育成講座」を荅北町、牛深地域で開催中。すでに本渡地域、上天草市、御所浦地域では終了した。平成26年3月から4月中旬の申請書提出締切りに向けて業務を進めて行く。

黒田 認知度を上げるためポルトで情報提供ができないか。

観光文化部長 議員のご指摘のとおり、まだまだジオパークの認知度は十分ではないと認識してい

る。その周知方法の一つとして、ポルトを活用した情報提供の充実が効果が期待できる提案と受け止めている。

黒田 天草ジオパーク構想に関する取り組みについて、協議会の会長としての考えをお聞きしたい。

市長 「天草ジオパーク構想」については、天草御所浦ジオパークの取組みが、天草という広域な圏域に拡大し、それぞれの地域の魅力を高め合い、交流の拡大や地域振興に必ずつながると考えているので、「天草ジオパーク構想推進協議会」の委員の皆様のご助言等を頂き、2市1町で連携を図りながら、日本ジオパーク認定に向けて全力を尽くしていく。



防災無線計画・光ファイバーの利用状況・
公共利用の私有地について



宮下幸一郎
議員

【防災無線について】

宮下 戸別受信機の設置は必要だが、どのような取り組みになるのか。
総合政策部長 現在、市内2,000世帯にアンケートを実施している。調査結果を基に戸別受信機の整備方針をまとめた。

宮下 デジタル化による戸別受信機は全て更新が必要だが、戸別受信機の天草工業高校や地元電気屋さんとの機器開発・製造等の委託推進は出来ないか。複雑すぎるシステムは外注品になり、地元発注可能なシステム構造にして頂きたい。

総合政策部長 どのようなシステムが求められるか、また、必要なのかを考慮して地元開発・製造を推進したい。

【光ファイバーの利活用について】

宮下 広域的な行政運用での利活用と、経費面での削減効果は図られているか。

総合政策部長 合併時34から92の業務まで増加している。業務は3倍になっているが、1億円の経費



削減とIP電話の運用を試験的に開始し、さらに経費削減を目指す。

宮下 更に利便性向上の計画は。

総合政策部長 県は本年10月から「くまもと無料WiFi」をスタートし、県と市で空港や市内の観光施設などシステム連携をし、設置をはかる。

【公共利用の私有地の契約状況について】

宮下 御所浦北小施設の一部民有地が裁判所の競売実施により第三者に落札された。競売の取り下げの手段も講じないまま応札した教育委員会の対応を踏まえて、今後、公共利用されている全私有地への対応はどのように考えているか。

総務部長 管財課で全体掌握し所管課と連携した対応を検討する。